

馬産地岩手の賑わいを ひっそりと今に伝える

大正・昭和
盛岡の賑わい
馬文化の中心が
ここにありました



馬町（現在の清水町）で始まった馬検場。軍馬の需要が増え手狭になったため明治45年に松尾前（現在の松尾町）に移されました。

馬検場を目的に開発されたこの地域は、翌年新馬町として開町。同年に盛岡劇場が完成し、盛岡を代表す花街と変貌を遂げました。

馬の競り市としてにぎわったこの馬検場は、昨年の暮れに亡くなった高峰秀子さん主演の『馬（1941年東宝 監督山本嘉次郎）』で、高峰さん演じる主人公いねが育てた馬が競りにかけられる馬市の舞台となるなど、馬産地岩手を今に伝える建物です。

書家新渡戸仙岳の筆による「扁額（へんがく）」は、この馬検場のシンボルとなっています。

